

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 079	提案機関名 JA かながわ西湘
要望問題名 ウンシュウミカンの浮皮抑制剤の処理方法の科学的な指標について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 浮皮抑制剤としてジベレリンとプロヒドロジャスモンサンの混用散布が実用化されてきている。しかしながら浮皮抑制効果と着色遅延などについて、効果は不安定である。科学的な指標による散布時期や処理方法などについて明らかにしていただきたい。また、出荷時期に応じて効果的な処理方法についても検討願いたい。	
解決希望年限	1年以内 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター 畜産技術所 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	足柄地区事務所	担当部所	研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合) 新植物調節剤実用化試験			
対応の内容等 ジベレリンとプロヒドロジャスモン酸の混用散布による浮皮軽減については、青島温州を主に静岡県などで実用化されてきております。本県の主力品種である大津4号等については効果的な処理方法や散布時期等について現地試験と連携して明らかにしていきたいと思っております。			
解決予定年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内		
備考			